

「新之助」生育速報 No. 3

平成29年6月20日
村上農業普及指導センター

1 生育調査ほ・実証ほにおける生育状況（6月20日現在）

生育概況

草丈:短い 茎数:並(葉齢比) 葉齢:遅れている 葉色:並

- 生育は、葉齢が遅れているが茎数は順調に確保されている。
- 田植えの遅かったほ場でも中干し開始時期となっている。
- 葉色は並となっている。

○新之助生育調査ほ・実証ほの調査結果(6月20日現在)

| 調査場所 | 田植日 | 草丈 (cm) | 茎数 (本/㎡) | 葉数 (葉) | 葉色 (SPAD) |
|-----------|-------|------------|-------------|-----------|--------------|
| 関川村上関(関川) | 5月19日 | 30 | 313 | 7.7 | 36.7 |
| 村上市牛屋(神林) | 5月15日 | 27 | 352 | 8.6 | 36.9 |
| 村上市十川(朝日) | 5月15日 | 26 | 476 | 7.7 | 40.5 |
| 平均 | 5月17日 | 28 | 380 | 8.0 | 38.0 |
| 指標値 | 5月15日 | 35 | 480 | 9.4 | 39.0 |
| 【参考:前年平均】 | 5月17日 | 35 | 483 | 9.4 | 41.4 |

2 今後の技術対策

当面の管理のポイント

◎中干し・溝切りの管理

- ・中干しがまだのほ場は、**速やかに実施**する。
- ・中干しは、**田面に小ヒビが入る程度**とし、登熟後半のほ場の水持ちを維持するため、**大ヒビがはいらないよう注意**する。また、うわ根発生促進のため、出穂の1か月前(7/15頃)には終わらせる。
- ・**中干し終了後は間断かん水とし、幼穂形成期以降は飽水管理とする。**
- ・**溝切りは、必ず行う。**

◎いもち病対策

- ・いもち病に対しては、**常にほ場をよく観察し、発病を認めた場合には、直ちに防除**する。
- ・特に**常発地**では、箱処理剤の効果が低下してくるので、**水面施用剤**の散布等の予防対策を行う。

◎カメムシ対策

- ・カメムシ類の住み処をなくため、農道・畦畔の定期的な草刈りと本田内のヒエやホタルイなどの雑草を取りこぼさない。